

# 校長先生のお話を聞いて



TEL 22-0618 HPアドレス <http://www.yokoze.ed.jp/es>



## 子どもたちの感想を紹介します！

### 「仲良きことは美しきかな」 校長 島 崎 孝 夫

今回の講話は、10月の生活目標に合わせて「友だちを大切にしよう」というお話をしました。サザエさんの「カツオ」とドラえもんの「のび太」は、性格は違うけど、二人は決して「いじめ」はしない。イソップ童話の「ライオンとネズミ」の話を引用し、人に優しくすれば、必ず良いことがある。みんなが考えた人権標語のように友だちと仲良くしていこう、ということをお伝えしました。子どもたちの感想を紹介します。

- ★ぼくは、いじめっ子になりたくない。カツオ君やのび太君みたいに、お友達に優しくしたいな。いっぱい仲良くしたいな。(1年男子)
- ★いじめをしない。みんな良い気持ちになあれ。お友達を大切にしよう。(1年女子)
- ★私は友達に優しくできていると思います。友達に優しくしたら、良いことが返ってきたことが、私もあります。イソップ童話の本が家にあります。読んだことがあるので、よく分かりました。人に優しくして良いことが返ってくる。という言葉をお心に取入れたいと思います。(2年女子)
- ★私は校長先生のお話を聞いて感じたことは、「人に優しくされたり、助けられたら、その次はその人に優しくするんだなあ」と感じました。優しい人は良い心をもつんだなあと思いました。私も誰かに助けられたら、助けてくれた人に良いことをしたいです。(2年女子)
- ★私は、これからも友達と仲良くしたいです。遊ぶときには、仲間はずれをしたくないです。なぜかというと、友達がきずつくから、仲間はずれはしないほうが良いと思います。きずつくということは、悲しい気持ちになることです。だから、私はきずつけたくないです。(かしの木3年女子)
- ★カツオやのび太は、「弱い者いじめをしない」よく考えたら確かに弱い子などをいじめていないなと思いました。だから私も少しでも優しい気持ちを持って、友達を大切にしたいです。ライオンとネズミの話も良いことをしてあげたら、きっと自分にも恩返しがあると嬉しいです。いくら勉強が嫌いでも一つでも良いことがあれば、いいと思います。自分が得意なこと、得意じゃないこと、人それぞれだから「みんなちがってみんないい」と思っています。ちょっといやなことがあっても、工夫してみれば、友達もたくさん増えると思います。(3年女子)
- ★校長先生のお話を聞いて、カツオとのび太の共通点に気づけて良かったです。二人とも弱い者いじめをしていないので、すごいなあと思いました。自分もそうなりたと思って頑張ってみたいです。だけど、みんな弱い者いじめをしていないので、学校が楽しいです。ときどき、ケンカなどしてしまうけど、もめごとや弱い者いじめする人がいないので、良かったです。(4年男子)

★今日の校長先生のお話は、「友達を大切にする」という話でした。私は、いつも優しくできているかを考えてみました。助け合って協力することをこれからも続けたいです。自分ではできていると思っけていても、相手にはいやなことになってしまっているかもしれません。私ももしかしたら相手をいやな気持ちにしているかもしれないです。思いやりを持って人がどういふうにすれば、嬉しくなるかを考えたいと思います。心のスイッチを切り替えながら、相手の気持ちを考えたいと思います。(4年女子)

★ぼくが校長先生のお話を聞いて思ったことは、ぼくも弱い者いじめをせず、誰にでも優しくできるようにになりたいということです。自分が優しくされなかったらいやだし、弱い者いじめをされてもやなので、自分がされていやなことは、友達にしないようにしたいです。ぼくが思ったカツオとのび太の共通点は、「勉強が苦手」というのと、「小さい子に優しい」と思っていたけど、弱い者いじめをしないとうい解答が出て、あっそっか・・・と思いました。これからもぼくは、弱い者いじめをしないで誰にでも優しくする。このことを守って生活をしていきたいです。友達だけでなく、兄弟や知らない子、年下の子にも優しくできるようにしたいです。(5年男子)

★校長先生は「友達を大切にしよう」というお話をしてくださいました。私は、校長先生のお話を聞いて、やっぱり友達は大切だと思いました。校長先生がお話してくださった中に「ライオンとネズミ」のお話が出てきました。私は、「ライオンとネズミ」のお話は、全く知りませんでした。けど、このお話を聞いて、ライオンはあの時にネズミを食べていたら死んでいたかもしれない。もしネズミが意地悪だったら、ネズミはライオンを助けなかったかもしれない。けど、ライオンはネズミを逃がし、親切なネズミはライオンを助けてくれた。これは、私たちも同じことだと思いました。校長先生のお話にもあったように、私が友達に親切にしたら、それは新しい親切になって返ってくると思いました。なので私は、これまで以上に友達に親切にしていきたいと思ひます。いずれ私が困っていることがあったら、友達が助けてくれると思ひます。私は今まで数え切れないくらい友達に助けられてきたので、私も困っている子がいたら、進んで助けていきたいと思ひました。(5年女子)

★今日の校長先生のお話は、「友達を大切にしよう」ということです。イソップ童話の「ライオンとネズミ」という話は、初めて聞いたけれど、とてもいい話だと思ひました。体の大小が違ふけど、「ライオンがネズミを助け」、「ネズミが小さい体でライオンを助ける」ことは、とてもすごいと思ひます。私も友達に助けられたことがあります。私が困っている時などに「どうしたの？」と声をかけてくれました。とても小さな出来事でも友達との絆は深まると思ひます。これからも友達が困っている時、悩んでいる時には、自分から「大丈夫？」「どうしたの？」とふわふわ言葉をかけてあげたいです。そして、いつまでも友達と助け合ひ、楽しい毎日が過ごせるようにしていきたいと思ひました。(6年女子)



★お話を聞いて、これからはもっと友達を増やしていきたいです。中学校になったら違ふところから来る子もいるかもしれないので、もしいたら仲良くしてあげたいです。ぼくは、友達に教えるということがあまりできていないので、これからは、分らない友達がいたら教えていきたいです。友達と話す時は、言葉遣ひにも気をつけたいし、相手の気持ちを考えながら話していきたいです。このクラスもあと少しなので、いろいろな人と話せるようにしたいです。(6年男子)

子どもたちの感想を読むと、いつも心がピュアになります。子どもたちの柔らかい心・温かい心を大切に指導して参ります。 次回の校長講話は、11月4日(水)です。お楽しみに！